

令和 7 年 度

農事功績表彰者名簿

令和 7 年 11 月 12 日

公益社団法人

大日本農会

目 次

	受章者数	頁
農 事 功 労 者		
紫白綬有功章	1 名	2
緑白綬有功章（国内）	1 1 名	3
北海道・東北地域		
関東地域	1 0 名	6
北陸地域	5 名	9
東海地域	3 名	11
近畿地域	6 名	12
中国四国地域	6 名	14
九州・沖縄地域	9 名	16
緑白綬有功章（国外）	1 名	19
緑白綬有功章 小計	5 1 名	
計	5 2 名	
農業改良普及功労者		
緑白綬有功章（国内）	4 名	20
農業技術開発功労者		
緑白綬有功章（国内）	1 名	21
名誉賞状（グループ）（国内）	1 団体	21
本 会 功 労 者		
紅白綬有功章（国内）	3 名	22
令和7年度農事功績表彰者	6 1 名	
（内訳）		
紫白綬有功章	1 名	
緑白綬有功章	5 6 名	
紅白綬有功章	3 名	
名誉賞状（グループ）	1 団体	

農 事 功 労 者

紫白綬有功章（国内） 1 名

氏 名	住 所	経営の特徴	表 彰 事 由
^{かね} ^こ ^{たく} ^お 金子 拓雄 (74歳) 緑白綬有功章 平成24年度受章	秋田県 由利本荘市	水稲・フランス鴨・野菜作 複合経営	1 水稲栽培を基盤として、フランス鴨の飼育や、メロンなどの野菜生産を行う複合経営に取り組んだほか、フランス鴨の加工にも取り組み、地域を代表する特産品開発に貢献した。 緑白綬有功章受章後は、後継者のいない農家から水田の基幹作業を積極的に引き受け、農地の守り手として効率的な経営を行っている。水稲については、主食用米に加え飼料用米を生産し、一部をフランス鴨の飼料に利用しているほか、ホールクロップサイレージ用稲を生産し畜産農家に供給している。更に、鴨舎に敷き詰めたもみ殻は堆肥化して農地に還元するなど耕畜連携を推進し、循環型農業を実践している。 コロナ禍以降の市場ニーズの変化を踏まえ、フランス鴨の飼育は終了したものの、冬期作業の確保に向けた雪下キャベツの栽培や、ジャガイモ、スイートコーン、スイカ等多品目の野菜を導入し、水稲を主体とした大規模複合経営を実践している。 2 地域や農業関係団体においてリーダーシップを発揮し、野菜の産地化や担い手の育成など地域農業の発展に尽力した。また、特産品の開発や消費者との交流等により、地域の活性化にも貢献した。 緑白綬有功章受章後は、平成26年に秋田県農業士連絡協議会長に就任し、会の運営に尽力するとともに、農業士向けの研修会を企画・開催し、自らも農業研修生を積極的に受入れるなど、担い手の確保・育成に貢献している。 このほか、地元JAのキャベツ部会長として、加工・業務用キャベツの生産技術の確立に尽力するとともに、地元の農地・水・環境保全事業協議会長として、地域資源の維持に貢献している。令和3年には大日本農会秋田支会長に就任し、秋田県立大学との産学共同研究を推進するなど、会の運営に尽力している。

緑白綬有功章（国内） 50名

（北海道・東北地域 11名）

氏 名	住 所	経営の特徴	表 彰 事 由
^{ふじ} ^{なが} ^{やす} ^お 藤 永 康 夫 (67歳)	北海道 石狩郡 新篠津村	水 稻・小麦・ 大豆作経営	1 共同機械利用組合を設立し、農作業の効率化とコスト削減を実現。地域の土地改良事業の中心的な役割を担い、水稻の品質向上、収量向上に大きく寄与。ブランド米創出にも尽力。 2 道指導農業士として新規就農者支援や担い手育成に尽力。グリーンツーリズムを通じて農業の魅力を発信し、都市との交流促進に尽力。作業受託を展開するなど地域農業の発展に貢献。
^{みや} ^た ^{とよ} ^じ 宮 田 豊 治 (69歳)	北海道 野付郡 別海町	酪農・飼料製造・販売経営 (法人)	1 20歳で経営主となり、規模拡大を図りながら環境に配慮した酪農を推進。コントラクター事業を行いつつ、国産の自給粗飼料を主体とし、有機牧草の生産・販売を行う安定経営を実現。 2 道指導農業士として、研修生の受け入れや新規就農者等の相談役として担い手育成に貢献。コントラクター事業の実施により地域の労働力不足の解消にも尽力。
^{さか} ^{もと} ^{せい} ^じ 坂 本 誠 治 (75歳)	青森県 三戸郡 南部町	リンゴ・モモ・スモモ作経営 (法人)	1 農薬散布回数を削減するとともに、有機質資材を活用するなど、良食味・高品質なリンゴの生産を実現。摘果作業を省力化し、モモ等を組み合わせた果樹複合経営を実現。 2 無袋ふじの栽培技術の普及や宣伝販売に尽力するとともに、モモ、スモモの導入と安定生産技術の普及等により産地化をけん引。グリーンツーリズムの推進や担い手育成にも貢献。
^{いつ} ^か ^{いちりょう} ^{いち} 五 日 市 亮 一 (68歳)	岩手県 二戸市	水 稻・大豆・リンゴ作複合経営 (個人・法人)	1 果樹作では観光りんご園やオーナー制度、個人直売等により、販路拡大と利益率を向上。稲作では地域内発酵鶏糞の水田への投入やJ-クレジットへの参加など環境保全型農業を推進。 2 大豆栽培等を通じた耕作放棄地対策に取り組むとともに、スマート農業技術の先駆的導入により、地域をけん引。美子氏は、直売所「湯の香市」の運営に携わり、地域活性化に貢献。
^{いつ} ^か ^{いち} ^{よし} ^こ 五 日 市 美 子 (63歳)			

氏 名	住 所	経営の特徴	表 彰 事 由
ちば ようこ 千葉 洋子 (73歳)	岩手県 北上市	肉用牛繁殖肥 育一貫経営	1 血液検査に基づく飼養管理や肥育ステージに応じた飼料の見直しに取り組み、生産効率を向上。繁殖・肥育一貫経営に取り組む中で、低利用農地の活用により、自給飼料の生産を拡大。 2 肥育牛の生産効率化等の取組について、研修や視察の受入れ、講師活動等により地域に普及。牛肉の低利用部位の高付加価値化や消費拡大に取り組む、肉牛の生産振興にも大きく貢献。
さかい えつこ 坂井 悦子 (72歳)	宮城県 大崎市	水 稻・大 豆 作・味噌加工 経営	1 早期から環境保全型農業に積極的に取り組み、安全・安心な米づくりを実践。自家産大豆で味噌加工を行い、有利販売することにより、地域に先駆けて6次産業化と経営の安定化を実現。 2 悦子氏は女性農業者の社会参画促進や後継者への指導、美津男氏は米のブランド向上や消費者交流など、それぞれが担い手の確保・育成等に積極的に取り組み、地域の活性化に貢献。
おの さざえもん 小野 佐左衛門 (75歳)	秋田県 横手市	水稲・スイカ 作複合経営	1 スイカと水稲の複合経営モデルを確立。西瓜共販組合長を長年務め、着果管理の厳格化やトンネル移動式栽培を推進するとともに、県オリジナル品種の普及やブランド化にも尽力。 2 水稲の共同育苗を行う集落営農組織の組合長として経営改善に取り組み、収益性を向上。スイカの後作としてミニカリフラワーを地域に定着させ、農地の有効活用と収益性向上に貢献。
さい とう りゅうへい 齊藤 龍平 (66歳)	秋田県 横手市	水 稻・ソバ・ 大豆・小麦作 経営 (法人)	1 大豆や野菜等と水稲を組み合わせた集落営農組織「生産組合きずな」を設立。総数20品目による周年生産、J-GAP認証による安全安心な生産体制、コストを意識した農業経営を確立。 2 農事組合法人として、担い手の育成や後継者不足の農地の受け皿となるなど、地域の活性化に貢献。認証農産物に関する視察研修会等を通じて、安全・安心な地元農産物の魅力をPR。

氏 名	住 所	経営の特徴	表 彰 事 由
いち かわ のり かず 市川 憲司 (70歳)	山形県 東置賜郡 高畠町	水稲・大豆・ 枝物作経営 (法人)	1 水稲の直播栽培や防除用ドローン等による省力化、乾燥調製施設の整備による作業の効率化を図り、大規模経営を実現。「啓翁桜」の栽培等により周年農業を実現し、地産地消にも貢献。 2 地域営農法人設立に中心的な役割を担い、農地集積を先導。「つや姫」のブランド化、農林大学校研修生の受入れによる担い手の育成、希少植物の保全による環境保全活動でも貢献。
はや さか あつし 早坂 淳 (66歳)	山形県 新庄市	ネギ・タラノメ 作経営	1 地域のネギ、タラノメ栽培の先駆者であり、野菜周年専作経営を確立して高収量・高単価を実現。試行錯誤によりネギの栽培技術を確立し、その成果を地域に普及して産地化に貢献。 2 強力なリーダーシップと行動力でネギ産地化をけん引。若手のネギ生産者の栽培技術向上を支援するとともに、県指導農業士として新規就農者の育成にも貢献し、女性の活躍も推進。
はね だ まさし 羽田 正 (85歳)	福島県 南会津郡 南会津町	ソバ作・ソバ 加工販売経営 (法人)	1 建設業から農業に参入して地域特産のソバ栽培を開始。造成農地を有効活用するほか、遊休農地の大規模再生により経営規模を拡大。そば店展開や加工品販売により付加価値経営を確立。 2 ソバを活用した遊休農地の解消、新そば祭りの地域イベント化など、地域活性化を先導。ソバの県オリジナル品種の種子生産、ソバの新たな作型への挑戦など、ソバの生産振興にも貢献。

(関東地域 10名)

氏 名	住 所	経営の特徴	表 彰 事 由
^{そめ の} 染 野 (64歳)	茨城県 坂東市	水稲・小麦・ 大豆作経営 (法人)	1 パン用小麦「ゆめかおり」の生産組織を立ち上げ、自らがタンパク含量の調整等を行い、実需者から高い評価。米の輸出に取り組み、米の味と鮮度を維持するため独自の包装技術も導入。 2 県農業経営士協会会長を務め、農業発展のリーダーとして貢献。「ゆめかおり」を使用した小麦製品が地域の店舗等で販売されることで、地域活性化や生産者の生産意欲の向上に貢献。
^{たに} 谷 (74歳)	栃木県 佐野市	水稲・大麦作 経営	1 農業機械や施設を順次整備し、夫婦二人三脚で養豚+米麦作経営を拡大し、銘柄豚も生産。現在は、耕作の依頼を受けて地域の農地を管理し、麦を中心とした効率的な米麦作経営を実現。 2 夫婦ともに農業団体の役職を多数歴任し、地域農業の発展等に貢献。特に久子氏は、農村女性組織のリーダーとして積極的に活動し、女性の農業経営・社会参画の基盤づくりに貢献。
^{たに} 谷 (78歳)			
^{ぬま お} 沼 尾 (74歳)	栃木県 日光市	水稲・大豆作 経営 (法人)	1 水稲の技術研究会を主宰して高収量を実現するとともに、その成果を公開して技術向上に貢献。また、農業法人を設立し、収益性の高い効率的な水稲・大豆作経営を実現。 2 ほ場整備事業の実施と地域営農計画の策定を主導し、地域農業の収益力向上に大きく貢献。観光農園の開設や農商工連携の推進等により、地域社会の活性化にも貢献。
^{いし だ} 石 田 (76歳)	群馬県 吾妻郡 長野原町	果樹・野菜 作・観光農園 複合経営 (法人)	1 果樹や野菜の収穫・加工体験ができる観光農園を運営。時期による観光客の動向を考慮して品目の選定を行い、7～11月にわたる受入れを実現するとともに環境保全型農業を実践。 2 観光農園運営で得たノウハウを地域の農業者に公開し、地域の果樹農業振興や6次産業化の取組支援に貢献。また、県内外の教育機関と連携し収穫・加工体験など食育活動を実践。

氏 名	住 所	経営の特徴	表 彰 事 由
ふな かわ よし たか 船 川 由 孝 (74歳)	埼玉県 幸手市	水稲専作経営 (法人)	1 農業経営基盤強化促進法による利用権設定や農地中間管理事業による利用集積を進め、積極的に面積を拡大。ほ場の大区画化や大型機械の導入により、効率的で生産性の高い経営を実現。 2 大規模水稲作の経営モデルとして、スマート農業の普及を先導。農業委員会会長として、農地の集積・集約化、農地利用の最適化を推進。県指導農業士等として、担い手の育成にも貢献。
い で たか ゆき 井 出 孝 行 (73歳)	東京都 世田谷区	施設花き・イチゴ・トマト 作複合経営	1 都市部の小規模農地のため、高品質花きに特化。購入後も長く楽しめる花壇苗・鉢物を提供し、高単価販売を実現。近年はイチゴ等の養液栽培を導入し、観光農園として相乗効果を発揮。 2 J A等の役員を歴任し地域花きのブランド化に貢献。また、区と連携し学校や一般区民への栽培体験の提供など花育を推進。地域の農業後継者・就農希望者への指導にも尽力。
うら い つら ゆき 浦 井 貫 之 (84歳)	神奈川県 小田原市	カンキツ専作 経営	1 温州ミカン経営において、高接により普通在来種から「大津四号」へ計画的な品種更新を行い、地域を主導。県育成の「湘南ゴールド」の栽培技術の確立や早期産地化にも貢献。 2 長期間にわたり、研修生を受け入れてカンキツ栽培技術の指導を行い、地域の後継者を育成。新品種の生産技術を確立し、地域への普及に尽力。J A事業や県育成品種のP R活動にも貢献。
い い だ ひろ ひこ 飯 田 裕 彦 (69歳)	山梨県 南アルプス市	シンビジウム 専作経営	1 シンビジウムの高品質生産を先導し、山上げ栽培やアーチング仕立ての導入により市場評価と収益性を向上。ピラミッドアジサイの切花を導入し、技術の普及に尽力し産地化に貢献。 2 県花き園芸組合連合会の会長・顧問として、県内花き産業の振興やブランド化を推進。花きの全国組織でもリーダーシップを発揮するとともに、地域農業の活性化に貢献。

氏 名	住 所	経営の特徴	表 彰 事 由
ふじ さわ しろう じ 藤 澤 章 仁 (67歳)	長野県 中野市	リンゴ・モモ 作経営	1 赤果肉リンゴを地域に先駆けて導入。産地化に向けて、品種の選定をはじめ、結実確保・摘果・病虫害防除等の栽培技術の確立により、安定生産出荷を実現し、経営を確立。 2 赤果肉リンゴ導入の先駆者として、JAの現地検討会等を通じて生産者の拡大に寄与。導入に慎重な産地が多い中で、栽培技術の伝達等により県内一の赤果肉リンゴ産地の形成に尽力。
ほり い かず お 堀 井 一 雄 (68歳)	静岡県 伊豆の国市	施設イチゴ専 作経営 (法人)	1 高設栽培システムの導入や雇用労働力の活用により、経営規模を拡大。県育成新品種「紅ほっぺ」や「きらび香」の品種特性などを短期間で把握し、新品種の県内への普及に貢献。 2 県の新規就農支援事業の研修受入農家として、26名のイチゴの新規就農者を受け入れ、地域の担い手の確保に貢献。更に、受入農家のリーダーとして、研修受入体制を構築。

(北陸地域 5名)

氏 名	住 所	経営の特徴	表 彰 事 由
おお いし そう いち ろう 大石 惣一郎 (73歳)	新潟県 佐渡市	水稲専作経営	1 効率的な管理が難しい棚田において、地域の水稲作の中心メンバーとして主要作業を請負う。棚田で生産されたコメの販売も担い、付加価値を付けて都市圏の消費者に直接販売。 2 市議会議員として棚田保全に活躍するとともに、全国棚田サミットの誘致・開催にも尽力。地域おこし協力隊の受入れや地域活性化拠点施設の設置等により、地域の活性化にも貢献。
こ いずみ ひ で ゆき 小泉 日出幸 (67歳)	新潟県 新潟市	水 稲 ・ 施 設 キュウリ・ト マト作複合経営	1 トマト・キュウリの施設栽培を主体とし、水稲と露地野菜を組み合わせ、労力分散やリスク分散を図る経営を実践。ニーズに合わせた品種転換と新技術の導入により産地をけん引。 2 県施設園芸経営研究会の役員を歴任し、県内施設園芸の発展に貢献。県指導農業士として担い手育成に尽力。J A等の役員として、産直・インショップ販売などの販売体制づくりに貢献。
さか い よし のぶ 坂井 美信 (77歳)	富山県 中新川郡 立山町	水稲・大豆・ 野菜・果樹作 複合経営 (法人)	1 集落営農組織を設立し、水稲・大豆に野菜や果樹を取り入れ複合化を進めるとともに、観光農園を開設。減農薬・減化学肥料、高温耐性品種の導入等に取り組み、安定した経営を確立。 2 法人設立を契機に近隣でも組織化が進展。それらの組織で構成する協議会の発起人となり、新品目導入など産地形成をけん引。県法人協会の役職を歴任し、担い手育成にも尽力。
みや もと たけ し 宮本 武志 (84歳)	石川県 羽咋郡 宝達志水町	水稲・野菜作 複合経営 (法人)	1 水稲単作地域において、冬期の収入確保のため、栽培期間が短いチンゲンサイ、ホウレンソウ等を導入。ハウスの回転率を高め、周年栽培体系を確立し、環境保全型農業にも取り組む。 2 生産組合組合長として施設園芸農家の組織化を図り、「水稲＋施設園芸」のモデル的経営を呈示して産地化を推進。J A役員等を歴任し、就農希望者研修受入れや、就労機会提供に貢献。

氏 名	住 所	経営の特徴	表 彰 事 由
くろ かわ きよ かず 黒川 清和 (70歳)	福井県 坂井市	肉用牛繁殖肥 育一貫経営	1 就農以降、安全・安心な牛肉の供給を心がけ、酪農家で生産された子牛の哺育・育成・肥育を中心とする経営を実現。堆肥販売や稲わら収集販売なども複合的に行い、収益を向上。 2 夫妻ともに、多くの農業関係の役職を歴任し、地域農業の振興に貢献。堆肥化プラントを整備して生産した堆肥を近隣のほ場に還元するなど、地域住民との間でも良好な関係を構築。
くろ かわ み ち こ 黒川 美智子 (66歳)			

(東海地域 3名)

氏 名	住 所	経営の特徴	表 彰 事 由
ふな さか まさ のぶ 船 坂 正 信 (68歳)	岐阜県 高山市	モモ・リンゴ・ ブドウ作経営	1 農業機械の先駆的導入による省力・軽労化や環境に配慮した栽培などにより、モモとリンゴを基幹とした果樹経営のモデルを確立。流通面での工夫により、輸送中の品質低下を防止。 2 長期間にわたり地域の果樹組織をリードし、果樹管理作業の支援組織の設立やモモの台木品種の育成・普及等に尽力。県指導農業士として地域の担い手の育成にも貢献。
にし やま なお し 西 山 直 司 (63歳)	愛知県 田原市	スイカ・ダイ コン作経営	1 ミツバチによる交配や土壌病害を克服する栽培技術を確認し、地域のスイカ栽培の土台を築く。スイカとダイコン、切干し大根を組み合わせた経営により、周年安定雇用を実現。 2 田原農業懇話会の会長として、地域農業者の研さん等に尽力。大学生のファームステイの受入れに尽力するとともに、地域のスイカ栽培の発展や技能実習生の受入体制整備にも貢献。
こ たけ いく や 小 竹 行 哉 (56歳)	三重県 多気郡 明和町	水稻・小麦・ 大豆作経営 (法人)	1 地権者に対する丁寧な対応とほ場管理を心掛け、近隣の農地を集約し経営規模を大幅に拡大。主食用米を中心に効率的な経営を行い、経験や適性を考慮して従業員の育成にも取り組む。
こ たけ み き 小 竹 美 紀 (49歳)			2 新規就農希望者の育成に貢献するとともに、小麦の作業受託や、無人ヘリによる水稻防除作業の受託など、地域農業の振興に貢献。地域の祭りに協力するなど、地域振興にも尽力。

(近畿地域 6名)

氏 名	住 所	経営の特徴	表 彰 事 由
よし かわ 吉 川 こ すけ 五 助 (72歳)	滋賀県 野洲市	メロン・キュウリ・シュンギク作経営	1 シュンギクの優良系統の選抜・採種を担うとともに、品種特性に応じた栽培管理を徹底することにより、経営基盤を確立。土壌消毒剤に頼らない環境に優しい農業を実践。 2 市の特産品「しゅんぎく娘」「みかちゃんメロン」のブランド化を主導するとともに、市の農業生産振興計画の作成・見直しに寄与。県指導農業士等として、担い手育成に尽力。
きぬ がわ 衣 川 しげ と 重 人 (70歳)	京都府 福知山市	水稲・黒大豆・万願寺トウガラシ作経営 (法人)	1 多様な水稲品種の栽培により作業を分散するとともに、スマート農機の積極的導入により省力化。特産の丹波黒大豆や万願寺トウガラシ等の生産、ブランド化等により経営を安定化。 2 集落の農地を守るため、農地集積を進め、集落の水田の約7割を担うとともに、良食味米産地としての評価を高めた。就業機会の提供や担い手育成に取り組み、地域農業の発展に貢献。
てら だ 寺 田 よし ひろ 義 弘 (68歳)	大阪府 高槻市	施設イチゴ専作経営	1 夜冷育苗を地域に先駆けて導入するとともに、作業の改善により高品質な完熟イチゴを生産。栽培や経営管理にデジタル端末を活用し、20年以上にわたりスマート農業を実践。 2 府「農の匠」として、イチゴ栽培を志す新規就農者等の研修を受け入れるなど、担い手育成に貢献。地域のイチゴ生産者の会において技術向上に貢献するなど、地域農業にも貢献。
なか やま 中 山 しん こ 晋 吾 (65歳)	兵庫県 たつの市	採卵鶏経営 (法人)	1 ビタミンE成分の多い特殊卵を生産するとともに、直売所開設により顔の見える採卵鶏経営を確立。鶏糞堆肥を野菜指定産地で散布するなど、耕畜連携により地域農業にも貢献。 2 養鶏団体の指導者として、消費者の安全安心を求める動きやニーズに合致した鶏卵供給を強く会員に提唱。家畜防疫対策や鶏卵の輸出に尽力するなど、県内の養鶏産業の振興に尽力。

氏 名	住 所	経営の特徴	表 彰 事 由
まえ だ しん いち 前 田 伸 一 (62歳)	奈良県 奈良市	施設トマト・ キュウリ作 経営	1 根域制限を行う養液土耕栽培等により、糖度8%以上の高糖度トマトの生産を実現。県内で先駆けて独自ブランドを立ち上げ、地域の複数の量販店と契約取引して経営を安定化。 2 県指導農業士として担い手育成に尽力し、農業体験等により地域住民の農業への理解を促進。農業団体の役員として、水源の確保や耕作放棄地の解消に取り組み、地域計画の策定に貢献。
にし がき とし ひで 西 垣 俊 秀 (66歳)	和歌山県 伊都郡 かつらぎ町	カキ・カンキツ・ クリ作経営	1 カキ栽培において、園内道の整備により大型機械を導入し、省力化を実現。施設栽培の導入や栽培技術の工夫により労力を分散し、作業効率の改善にも取り組み、省力安定生産を実現。 2 カキ産地での省力栽培の推進や県オリジナル品種「紀州てまり」の産地化に尽力。県指導農業士や県国際農業者交流協会会長として、国内外の研修生を多数受け入れ、後継者育成に貢献。

(中国四国地域 6名)

氏 名	住 所	経営の特徴	表 彰 事 由
まつ なが なお ゆき 松 永 直 行 (68歳)	島根県 益田市	肉用牛繁殖肥 育一貫経営 (法人)	1 生産履歴公表牛肉JASに対応した飼養管理や血液検査データ等に基づく個体管理を行い、和牛中心の繁殖肥育一貫経営を確立。良質堆肥の生産や未利用資源の飼料化にも取り組む。 2 耕畜連携や地域資源の有効活用を行うとともに、研修生の受入れ等により担い手の育成にも尽力。地域の肉用牛改良のリーダーとして、和牛の産肉能力の向上にも大きく貢献。
みつ もと いち ろう 光 元 一 郎 (68歳)	岡山県 久米郡 久米南町	キュウリ・ダイコン作経営	1 キュウリ栽培に先進技術を数多く導入して省力化と安定生産につなげ、部会内外にも普及。野菜の周年栽培体系を確立して県下最大規模のキュウリ栽培を実現し、高い農業所得を実現。 2 部会活動を主導し、新技術の普及により産地の発展に大きく貢献。キュウリ栽培希望者を研修生として受け入れ、産地の担い手を育成するとともに、小・中学生の体験授業等にも貢献。
ふく だ かず お 福 田 一 夫 (78歳) ふく だ ち ず こ 福 田 ち ず 子 (75歳)	広島県 三次市	水稲作・加工 販売経営 (法人)	1 県の先進事例となるパソコンを活用した経営管理、新技術の積極的導入等により、稲作経営を高位安定化。水稲部門と加工販売部門を拡充し、地域で先駆的な農業経営の多角化を実現。 2 経営の多角化など経営発展モデルとして地域をけん引。一夫氏は、農地流動化の合意形成に尽力し、遊休農地の解消に貢献。ちず子氏は、食農教育や6次産業化の推進に貢献。
さかき の みず え 柚 野 瑞 恵 (65歳)	徳島県 那賀郡 那賀町	ユズ専作経営 (法人)	1 農家女性組織の代表として、ユズの生産、加工、販売まで手がけ、輸出にも取り組み経営を拡大。6次産業化を核とした「木頭ゆず」産地の活性化に貢献。ユズを用いた食文化を発信 2 農家グループ等の代表として、農村での女性活動をけん引。ユズの付加価値を向上するとともに、クラスター協議会の会長として「木頭ゆず」の知名度向上にも貢献。

氏 名	住 所	経営の特徴	表 彰 事 由
^{おお た} 太 田 (68歳) ^{すすむ} 進	香川県 綾歌郡 綾川町	養豚一貫経営 (法人)	1 種付け・分娩・離乳を3週間単位で管理するスリーセブン方式を早期に導入し、養豚経営を改善。生協と協議を重ね、生産原価方式での契約取引による安定販売を実現。 2 自身の取組成果の提供により、県の養豚経営の改善に貢献するとともに、「讃岐もち豚」をはじめとする県産豚肉の消費拡大を推進。県農業士として地域の若手農業者の育成にも尽力。
^{すず き} 鈴 木 (77歳) ^{かず お} 和 夫	愛媛県 四国中央市	水稻・小麦・施設イチゴ作 複合経営	1 イチゴ栽培の品種選定に当たって、消費者への試食調査を徹底して「さちのか」を選定。育苗段階の病虫害防除の徹底、米ぬかを使った土壌還元消毒で定植後の無農薬栽培体系を確立。 2 イチゴ栽培の先駆者として知識や技術を後続のイチゴ農家へ提供し、産地化に貢献。また農業委員として優良農地確保や圃場整備を推進。学校給食の地元産農産物の利用向上等にも尽力。

(九州・沖縄地域 9名)

氏 名	住 所	経営の特徴	表 彰 事 由
さねもと ふとる 實 本 太 (69歳)	福岡県 筑後市	肉用牛・水稲・ 麦作複合経営 (個人・法人)	1 黒毛和牛×ジャージー種からなる交雑牛を自家ブランド牛「船小屋牛」として生産。酒粕やおからなど地域未利用資源を活用した配合飼料や稲わらを給与し、肉質向上を実現。 2 県指導農業士として後継者の育成や地域農業の発展に大きく貢献するとともに、農業委員会会長やJ A理事などの役職に就き、地域活性化のけん引役として長年に渡り尽力。
いしかわ ゆうじ 石 川 勇 治 (64歳)	佐賀県 唐津市	水 稲 ・ 施 設 トマト作複合 経営	1 県北部の中山間地域において、地域の模範となる施設トマトと水稲の複合経営を実践。トマトは自動灌水システム、水稲はドローン等を導入し省力化したほか、環境保全型農業を推進。 2 勇治氏はJ Aハウレンソウ部会の立ち上げや県青年農業士、県農業士として青年農業者を育成。利恵氏は唐津市農業委員として地域計画策定協議や集落協定のとりまとめに尽力。
いしかわ としえ 石 川 利 恵 (61歳)			
たて いし しゅんいち 立 石 俊 一 (67歳)	長崎県 雲仙市	切花バラ専作 経営	1 施設バラ経営において、低コスト耐候性ハウスや少量土壌培地耕を先駆的に導入。ヒートポンプや細霧冷房等の環境制御技術の活用により、良質切花を安定生産するモデル経営を実現。 2 県花き振興協議会の要職を歴任し、県産花きの振興に尽力するとともに、県農業士として担い手の育成に取り組む。観光客を対象とした各種イベントにも参画し、地域活性化に貢献。
うえ はら つねひろ 上 原 常 博 (78歳)	熊本県 玉名郡 和水町	水 稲 ・ バレイ シヨ・カンシヨ 作複合経営 (法人)	1 水稲の育苗から精米まで一貫した作業受託体制を整備。独自開発した軽量床土で作業負担を大幅軽減。企業契約に基づき加工用バレイシヨ・カンシヨ等の安定出荷体制を確立。 2 常博氏は、4 Hクラブ会長として若手農業者の技術向上に尽力。また常博氏・紀子氏とも海外の農業研修生の受入れ、地域の青年農業者に対する栽培指導を通じた人材育成に貢献。
うえ はら のりこ 上 原 紀 子 (75歳)			

氏 名	住 所	経営の特徴	表 彰 事 由
うちだ たかあき 内田 孝昭 (76歳)	熊本県 阿蘇市	水稲・大麦・ 大豆作経営 (法人)	1 ほ場の大区画化を自主施工により実現。効率性を高めるため大型機械を最大限活用し、ICT農機やデバイスの導入によりスマート農業を实践。農耕畜連携による循環型農業を展開。 2 J Aの生産部会長として大豆の生産振興に貢献するとともに、最新農機のオペレーター訓練や研修により担い手育成に尽力。県農業法人協会会長に就任し、農業経営の法人化を推進。
おおつか としゆき 大塚 敏幸 (64歳)	大分県 豊後高田市	ホ オ ズ キ・ グラジオラス 作経営	1 ホオズキの低コスト・省力的な短茎ネット栽培を地域に先駆けて導入。産地で初めてグラジオラスの電照抑制栽培に取り組み、新たな作型を確立することにより、花き複合経営を実現。 2 栽培マニュアルの作成により、ホオズキ、電照抑制グラジオラスの作型を地域に導入するとともに、ファーマーズスクールでのコーチング等により新規就農者の育成に貢献。
よこ い か じ ろう 横井 嘉次郎 (71歳)	宮崎県 東臼杵郡 門川町	施設ミニトマト 専作経営	1 事業を活用し、冬春ミニトマトの大規模経営体を実現し、養液栽培導入等により、高単収を実現。いち早く認定農業者になり家族経営協定も締結するなど、地域農業のモデル的な経営体。 2 研修受入れや技術指導を積極的に行い、農地確保も支援することにより多くの新規就農者の定着に貢献。直売所や集落営農組織の設立等により、地域農業の維持・発展・活性化にも貢献。
の つき ひろし 野付 弘 (78歳)	鹿児島県 出水市	緑化樹・水稲・ 加工バレイショ 作複合経営	1 水稲、緑化樹の生産に加えて、加工原料用バレイショ、大豆を導入。バレイショについては適期管理、防除排水対策、大豆についてはブロックローテーションにより安定供給を実現。 2 県指導農業士や農業委員を長年務め、研修受入れを通じた新規就農者の育成や農地利用集積に貢献。地域と連携して収穫体験等の食育、障害者雇用による農福連携などを推進。

氏 名	住 所	経営の特徴	表 彰 事 由
^{しま} _だ 島 田 ^{なが} _{まさ} 長 政 (80歳)	沖縄県 石垣市	マンゴー専作 経営 (法人)	1 マンゴーのハウス栽培に低木仕立てを導入。完熟果実の宅配に取り組み、商標登録によるブランド化を推進。顧客管理ソフトで販売の省力化を進め、経営規模を拡大して安定経営を確立。
^{しま} _だ 島 田 ^こ _し セ ヅ 子 (80歳)			2 長政氏は、本土への輸送問題の改善に尽力するとともに、県指導農業士やマンゴー研究会会長として、農業振興に寄与。セツ子氏は、県女性農業士として女性農業者の活動活性化に貢献。

緑白綬有功章（国外） 1名

（北米加州支会 1名）

氏 名	住 所	経営の特徴	表 彰 事 由
やまさき 山崎ブライアン （63歳）	Los Angeles CA 90029 カリフォルニア州 米国	庭園業・造園業	1962年、米国生まれ（日系3世：母方が広島県出身）。1985年から庭園業と造園業に従事。2014年には、庭園業者としての知識と技術を認められ、公園の管理者兼監督者に就任。現在、ロス市内の125の公園の主任管理監督者及び管理者として、約120名の庭師を率いて公園の美化に取り組んでいる。 ハリウッド日系文化協会会長として、地域住民とともにハリウッドコミュニティセンターを建設し、日本文化の普及と日系社会の発展に貢献するとともに、南加庭園業連盟会長として、日本からの農業関係者の講習会を積極的に行い、本年3月には南加庭園業連盟創立70周年記念行事を成功に導いた。

農業改良普及功労者

(一般社団法人 全国農業改良普及支援協会推薦)

緑白綬有功章（国内） 4名

氏 名	住 所	表 彰 事 由
うめ はら 梅 原 (75歳)	あきら 彰 千葉県	畜産担当普及員として酪農ヘルパー利用組合の組織化、担い手育成担当として農業士・指導農業士の組織化を図るとともに、在来大豆を活用した地産地消や都市住民との交流拡大等により地域農業の活性化等に尽力した。また、農業経営担当専門技術員として、経営体育成活動の手引を作成し、普及指導員の能力向上を支援した。退職後は、普及活動の経験を体系化した「普及原論」を出版し、国段階や他県を含めた県段階の研修講師として普及指導員の指導に尽力するほか、農業ミニコミ誌や農業を目指すために必要なポイントをまとめた「農業は生き方です」を発行し、農業者同士のネットワークづくり等にも貢献している。
しば 芝 (66歳)	かず おき 一 意 愛媛県	野菜産地振興に取り組み、全国初の「どてかぼちゃカーニバル」の企画立案と青年農業者協議会活動の活性化、農家が開発したイチゴの新品種登録の指導と栽培マニュアルの作成による短期間での普及・定着に尽力した。また、イチゴの簡易高設栽培「るんるんベンチ栽培」の開発に尽力するとともに、研究会の発足、全国サミットの開催を主導するなど、地域内はもとより、全国的な普及にも貢献した。更に、全国農業改良普及職員協議会理事、県普及指導員研究協議会会長等としても活躍した。退職後は、地元JAの営農指導員研修の講師を務めるなど、技術指導を通じて地域農業の発展に貢献している。
あら き 荒 木 (74歳)	ひとし 均 熊本県	普及事業に従事する中で、県農業の月間情報誌「農業くまもとアグリ」の創刊を発案し、農業関係者間の新たな交流機会の創出、若手普及職員の育成等に貢献した。また、普及手法、青年農業者育成担当の専門技術員として、「熊本県普及事業研究会」を立ち上げるなど、普及方法の調査研究や人材育成等に貢献した。更に、普及事業に関する体系的な知識や考え方、方法論などを論理的に解説した「普及活動の手引き」をとりまとめ、人材育成に貢献した。退職後は、農業改良普及支援協会の専門調査員や熊本県有機農業研究会の就農コーディネーターとして活動し、農業の発展に貢献している。
いわ しげ 岩 重 (74歳)	すず み 鈴 美 鹿児島県	生活改良普及員として、農村の生活改善や農産加工グループ活動支援、女性農業者の経営・社会参画支援に尽力した。また、県庁の普及主務課在籍中には、農山漁村における男女共同参画社会を推進する機運が高まる中、「かごしまの農山漁村きらめく女性ビジョン」の主担当として策定に尽力した。更に、農産物利用、食品加工担当の専門技術員として、直売所の運営支援や直売所間の連携、地場農産物の活用が見込まれるホテルや学校給食との連携など、農業者と実需者を結びつける活動について、普及現場を指導した。退職後は、県特産品協会のふるさと特産運動推進指導員として活躍している。

農業技術開発功労者

(公益社団法人 農林水産・食品産業技術振興協会推薦)

緑白綬有功章（国内） 1名

氏 名 住 所

もり とし き
森 利 樹
(66歳)

三重県

表 彰 事 由

イチゴの炭疽病は、苗が全滅することもある最重要病害であり、抵抗性品種が切望されていた。このため、抵抗性の遺伝特性を解明して開発した育種法を用い、抵抗性品種「かおり野」を育成した。県内シェアは40%を超え、育種素材としても活用されている。また、イチゴは栄養繁殖性であり、ランナー（子苗）を切り取って株分けして増殖しているが、増殖率が低く、病害虫が親株から子株に伝染することが問題となっていた。育成された種子繁殖型品種「よつぼし」は、種から育てるため病害虫が少なく、高い増殖率が期待できることから種苗供給に要する時間と労力を大幅に軽減できる。この実用品種として初の成功事例を受けて、後続品種の育成が各所で行われている。

元 三重県農業研究所生産技術研究室長

平成30年度（第74回）農業技術功労者表彰受賞

名誉賞状（グループ）（国内） 1団体

氏 名 住 所

日本ハム（株）中央研究所
検査キットチーム

令和2年度民間部門農林水産研究
開発功績者表彰
農林水産大臣賞

表 彰 事 由

牛等の偶蹄類が感染する急性伝染病である口蹄疫については、現場で鑑別にあたる獣医師等は、外観や発熱といった臨床上の所見のみで通報しなければならないものの、典型的な症状を示さないことも多く、確定診断、更には最も重要な初動防疫の開始に時間を要していた。
開発された簡易検査キットは本病原ウイルスの7つの血清型の全てに対応するものであり、妊娠検査と同様に判定部に現れる線を目視で読み取って判定するという非常に簡易な操作方法で利用できる。農水省の特定家畜伝染病防疫指針において、口蹄疫ウイルス抗原を特異的に検出する検査方法として位置づけられており、簡易検査キットの口蹄疫防疫への導入は日本独自の先進的な取組である。

日本ハム株式会社中央研究所 エキスパートアドバイザー

まつ もと たか し
松 本 貴 之
(62歳)

日本ハム株式会社中央研究所 検査キットチームリーダー

うら やま か な
浦 山 佳 那
(37歳)

日本ハム株式会社中央研究所 検査キットチームリーダー

おお たけ よし ひろ
大 竹 祥 紘
(37歳)

本 会 功 労 者

紅白綬有功章（国内） 3名

氏 名	住 所	表 彰 事 由
みなみ 陽 かつ ゆき 捷 行 (82歳)	東京都	本会に対する功績顕著なるを認め頭書の有功章を贈りその功労を表彰（業務活動推進）
み こ がい あら え 御 子 貝 荒 江 (78歳)	栃木県	本会に対する功績顕著なるを認め頭書の有功章を贈りその功労を表彰（業務活動推進）
お ぐり くに お 小 栗 邦 夫 (71歳)	東京都	本会に対する功績顕著なるを認め頭書の有功章を贈りその功労を表彰（業務活動推進）

農事功労者経営類型別一覧（国内）

区分	部門	都道府県	市町村	氏 名	経営の特徴	掲載頁
紫白綬		秋田県	由利本荘市	金子 拓雄	水稲・フランス鴨・野菜作複合経営	2
緑白綬	農産	北海道	石狩郡 新篠津村	藤永 康夫	水稲・小麦・大豆作経営	3
緑白綬	農産	宮城県	大崎市	坂井 悦子 坂井 美津男	水稲・大豆作・味噌加工経営	4
緑白綬	農産	秋田県	横手市	齊藤 龍平	水稲・ソバ・大豆・小麦作経営 (法人)	4
緑白綬	農産	山形県	東置賜郡 高畠町	市川 憲司	水稲・大豆・枝物作経営 (法人)	5
緑白綬	農産	福島県	南会津郡 南会津町	羽田 正	ソバ作・ソバ加工販売経営 (法人)	5
緑白綬	農産	茨城県	坂東市	染野 実	水稲・小麦・大豆作経営 (法人)	6
緑白綬	農産	栃木県	佐野市	谷 久子 谷 正雄	水稲・大麦作経営	6
緑白綬	農産	栃木県	日光市	沼尾 一郎	水稲・大豆作経営 (法人)	6
緑白綬	農産	埼玉県	幸手市	船川 由孝	水稲専作経営(法人)	7
緑白綬	農産	新潟県	佐渡市	大石 惣一郎	水稲専作経営	9
緑白綬	農産	三重県	多気郡 明和町	小竹 行哉 小竹 美紀	水稲・小麦・大豆作経営 (法人)	11
緑白綬	農産	京都府	福知山市	衣川 重人	水稲・黒大豆・万願寺トウガラシ作経営 (法人)	12
緑白綬	農産	広島県	三次市	福田 一夫 福田 ちず子	水稲作・加工販売経営 (法人)	14
緑白綬	農産	熊本県	阿蘇市	内田 孝昭	水稲・大麦・大豆作経営 (法人)	17
緑白綬	野菜	山形県	新庄市	早坂 淳	ネギ・タラノメ作経営	5
緑白綬	野菜	静岡県	伊豆の国市	堀井 一雄	施設イチゴ専作経営 (法人)	8
緑白綬	野菜	愛知県	田原市	西山 直司	スイカ・ダイコン作経営	11
緑白綬	野菜	滋賀県	野洲市	吉川 五助	メロン・キュウリ・シュンギク作経営	12
緑白綬	野菜	大阪府	高槻市	寺田 義弘	施設イチゴ専作経営	12
緑白綬	野菜	奈良県	奈良市	前田 伸一	施設トマト・キュウリ作経営	13
緑白綬	野菜	岡山県	久米郡 久米南町	光元 一郎	キュウリ・ダイコン作経営	14
緑白綬	野菜	宮崎県	東臼杵郡 門川町	横井 嘉次郎	施設ミニトマト専作経営	17
緑白綬	果樹	青森県	三戸郡 南部町	坂本 誠治	リンゴ・モモ・スモモ作経営 (法人)	3
緑白綬	果樹	神奈川県	小田原市	浦井 貫之	カンキツ専作経営	7
緑白綬	果樹	長野県	中野市	藤澤 章仁	リンゴ・モモ作経営	8

区分	部門	都道府県	市町村	氏 名	経営の特徴	掲載頁
緑白綬	果樹	岐阜県	高山市	船坂 正信	モモ・リンゴ・ブドウ作経営	11
緑白綬	果樹	和歌山県	伊都郡 かつらぎ町	西垣 俊秀	カキ・カンキツ・クリ作経営	13
緑白綬	果樹	徳島県	那賀郡 那賀町	榊野 瑞恵	ユズ専作経営(法人)	14
緑白綬	果樹	沖縄県	石垣市	島田 長政 島田 セツ子	マンゴー専作経営(法人)	18
緑白綬	花き	山梨県	南アルプス市	飯田 裕彦	シンビジウム専作経営	7
緑白綬	花き	長崎県	雲仙市	立石 俊一	切花バラ専作経営	16
緑白綬	花き	大分県	豊後高田市	大塚 敏幸	ホオズキ・グラジオラス作経営	17
緑白綬	畜産	北海道	野付郡 別海町	宮田 豊治	酪農・飼料製造販売経営 (法人)	3
緑白綬	畜産	岩手県	北上市	千葉 洋子	肉用牛繁殖肥育一貫経営	4
緑白綬	畜産	福井県	坂井市	黒川 清和 黒川 美智子	肉用牛繁殖肥育一貫経営	10
緑白綬	畜産	兵庫県	たつの市	中山 晋吾	採卵鶏経営(法人)	12
緑白綬	畜産	島根県	益田市	松永 直行	肉用牛繁殖肥育一貫経営 (法人)	14
緑白綬	畜産	香川県	綾歌郡 綾川町	太田 進	養豚一貫経営(法人)	15
緑白綬	複合	岩手県	二戸市	五日市 亮一 五日市 美子	水稻・大豆・リンゴ作複合経営 (個人・法人)	3
緑白綬	複合	秋田県	横手市	小野 佐左衛門	水稻・スイカ作複合経営	4
緑白綬	複合	群馬県	吾妻郡 長野原町	石田 俊雄	果樹・野菜作・観光農園複合 経営(法人)	6
緑白綬	複合	東京都	世田谷区	井出 孝行	施設花き・イチゴ・トマト作複 合経営	7
緑白綬	複合	新潟県	新潟市	小泉 日出幸	水稻・施設キュウリ・トマト作 複合経営	9
緑白綬	複合	富山県	中新川郡 立山町	坂井 美信	水稻・大豆・野菜・果樹作複 合経営(法人)	9
緑白綬	複合	石川県	羽咋郡 宝達志水町	宮本 武志	水稻・野菜作複合経営(法人)	9
緑白綬	複合	愛媛県	四国中央市	鈴木 和夫	水稻・小麦・施設イチゴ作複合 経営	15
緑白綬	複合	福岡県	筑後市	實本 太	肉用牛・水稻・麦作複合経営 (個人・法人)	16
緑白綬	複合	佐賀県	唐津市	石川 勇治 石川 利恵	水稻・施設トマト作複合経営	16
緑白綬	複合	熊本県	玉名郡 和水町	上原 常博 上原 紀子	水稻・バレイショ・カンショ作 複合経営(法人)	16
緑白綬	複合	鹿児島県	出水市	野付 弘	緑化樹・水稻・加工バレイショ 作複合経営	17

公益社団法人 大日本農会

〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-2-1

日土地内幸町ビル2階

電 話 03-3584-6739

FAX 03-3528-8140